

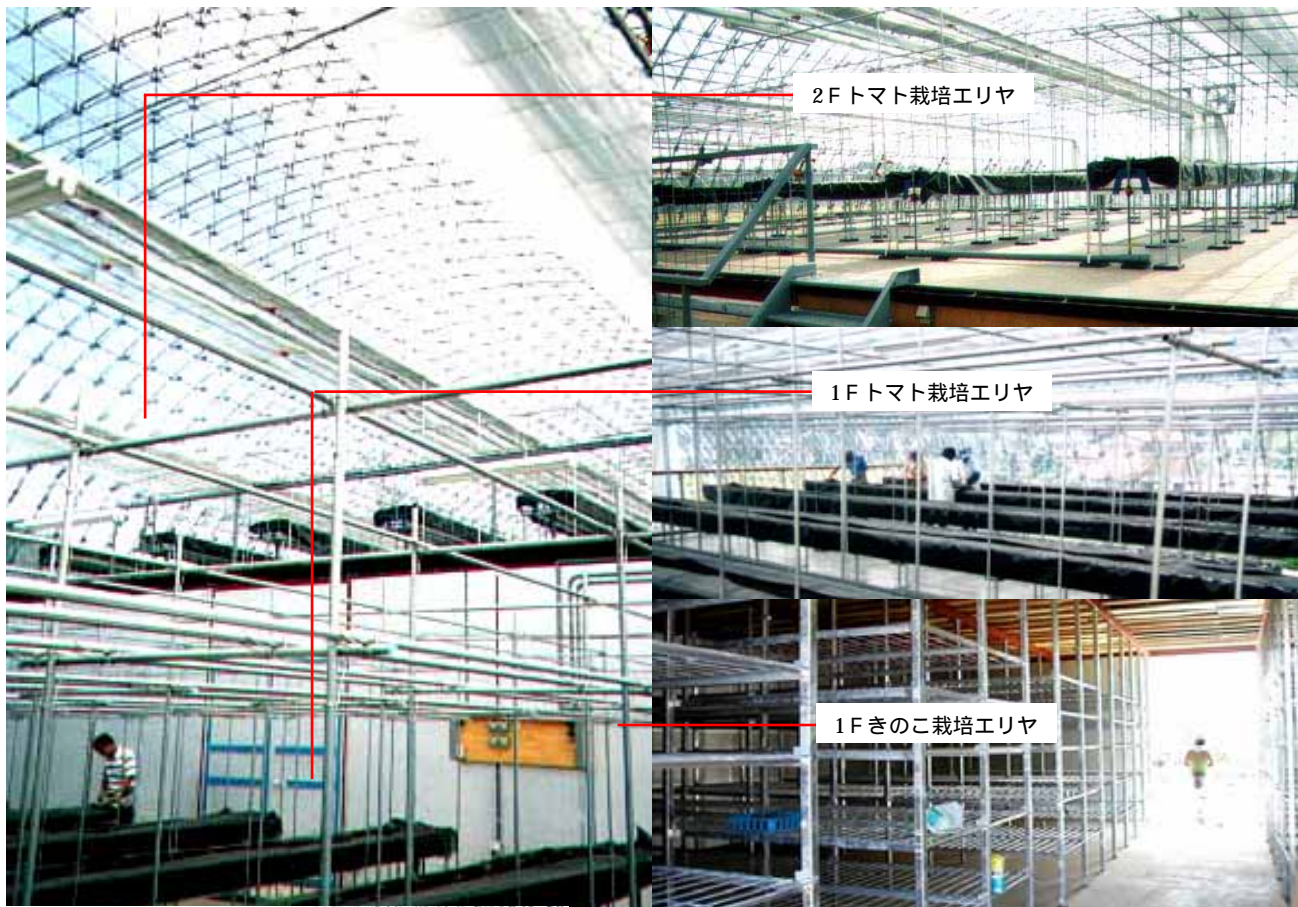
長野できのこ工場とトマト栽培の複合型栽培施設運転開始！

今月は、今年から商品化を進めているハイブリットハウス(複合型栽培施設)の事例を紹介させていただきます。長野県上水内郡三水村にかねてより建設していましたが施設が完成し、9月から運転に入りました。オーナーの高橋幸子さんは、きのこ栽培をやっておられましたが、施設を一新したいとの希望から検討をすすめておられましたが、本年2月弊社農場見学時に見たバイオトラスの美しさに感動され、かねてから水耕

をやりたいという気持ちもあって、きのこ水耕の両方ができるこの施設は要望にピッタリで、これでいきたいと決心されたものです。

工事は地元で幅広く活動されている中澤塗装の宮崎さんが施設セットアップ担当され、弊社はハウス部材、水耕栽培施設を提供したものです。幅17m×奥行30m×高さ8.5m(150坪)の半円状ハウス内に、きのこ工場と、有機培地利用トマト栽培施設を1Fときのこ工場の上2Fに設

置する複合型施設となっています。従来からきのこ栽培は手がけられており、それでの安定収入と有機培地水耕による高糖度トマト栽培の複合経営を目指し、地域の特産品化など、顔の見える農業をやりたい、今までと違う農業をやりたいと熱っぽく語っていただきました。トマト苗を9月に定植し年内出荷を目指しておられます。21世紀型の1事例として成功するようM式としても協力していきたいと思っています。(会長村井邦彦)



2F トマト栽培エリア

1F トマト栽培エリア

1F きのこ栽培エリア

ハウス外観



オーナーの高橋さんと工事した宮崎さん

トマト定植